

研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

口唇裂・口蓋裂児出生に関する実態調査

1. 研究の対象および研究対象期間

2019年1月1日から2022年12月31日までに昭和大学横浜市北部病院形成外科において、口唇口蓋裂初診または術後経過観察のために受診された方

2. 研究目的・方法

現在、一般社団法人日本口蓋裂学会では、学術調査委員会（以下、口蓋裂学会）の高木律男委員長（本研究の研究責任者）が中心となり、「口唇裂・口蓋裂児出生（くちびるや口の中に裂け目ができてしまうこと）に関する実態調査」が行われています。昭和大学横浜市北部病院形成外科（以下、当科）におきましても協力機関として実態調査を行います。

概要は、過去に当科を初診したお子さんおよびそのご家族を対象に、診療録（カルテ）の記録からデータ収集を行うものです。得られたデータは調査票（提出書類）に抽出します。最終的には当科と同様に全国の調査協力機関で収集されたデータは口蓋裂学会に集積され、口蓋裂学会学術調査委員会主導で解析および情報発信が予定されております。この情報は少子高齢化が加速している本邦において、最新の口唇裂・口蓋裂児出生の実態把握に寄与し、今後の口蓋裂治療がより現実的で適切な医療サービスと発展する基礎的データとして使用されます。

研究期間：昭和大学横浜市北部病院臨床試験審査委員会承認後、病院長の研究実施許可を得てから2026年03月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

2019年1月1日から2022年12月31日までに当院形成外科において、口唇口蓋裂の経過観察のために受診している患者さんの診療録の中から、生年月日、初診日、裂型、左右、性別、出生時体重、Apgar score（出産直後の新生児の健康状態を表す指数）、出生前診断、両親の年齢、同胞発生、家族内発生、症候群/染色体異常、他先天奇形の有無、染色体検査の実施、その他の外表奇形・内臓疾患などが調査項目です。

4. お問い合わせ先

研究責任者：所属：

昭和大学横浜市北部病院 外科・形成外科 大塚 尚治

住所：224-8503 神奈川県横浜市都築区茅ヶ崎中央 35-1

昭和大学横浜市北部病院形成外科 電話番号：045-949-7000